

特定非営利活動法人仙台バリアフリースーツアーセンター 令和3年度 事業計画書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

○ 令和3年度活動方針

1. 今年度も新型コロナウイルスの影響が予想されるが、旅行相談事業は継続する。取材調査活動については、今後の社会情勢の変化により検討する。
2. 東北運輸局を始めとする行政機関や事業者等に対するバリアフリー改善等の申し入れ等については、適宜行う。
3. 昨年同様、仙台市障害理解サポーター養成研修への協力および、ユニバーサルマナー検定研修について、障害理解推進の観点から当法人業務の一環と位置付ける。
4. バリアフリーを主活動とする団体として、仙台市生活圏拡張運動史料編纂を行い、福祉のまちづくり発祥の地として、市民への啓発啓蒙を行う。

○ 令和3年度活動目標

- ① 県内のバリアフリー観光推進事業。
 - ・バリアフリースーツアーセンター相談業務。
 - ・行政、事業者等に対しバリアフリー改善等の申し入れ。
- ② 広報・啓発事業。
 - ・インターネットなどでの情報発信。
 - ・仙台市、仙台市障害者福祉協会、株式会社ミライロ様およびSDGs協会(仮称)へ事業協力。
 - ・仙台市生活圏拡張運動史料編纂を宮城県障がい者福祉協会ともに行う。

○ 3年度事業予定

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
観光事業者、行政、旅行者等のバリアフリーの情報発信、提供事業	バリアフリースーツアーセンター業務	通年	宮城県内	2人	宮城県内の高齢者・障害者および観光事業者	0千円
観光事業者、行政、旅行者等のバリアフリー普及活動、宣伝事業	研修講師事業	通年	宮城県内	2人	宮城県内の高齢者・障害者および観光事業者	0千円
観光事業者、行政、旅行者等のバリアフリー普及活動、宣伝事業	行政、事業者等に対するバリアフリー改善等申し入れ	通年	宮城県内	5人	宮城県内の高齢者・障害者および観光事業者	0千円
観光事業者、行政、旅行者等のバリアフリー調査研究事業	仙台市生活圏拡張運動史料編纂	通年	宮城県内	2人	宮城県内の高齢者・障害者および観光事業者	0千円